

日曜日礼拝順序

2017年9月17日 午前11時 南部チャペル

前奏 頌栄	539	武井里花姉
開会の祈り 主の祈り 交読文	35	箴言8章 Scroggins 由紀牧師 一同
賛美歌 祈りの時	1	“神のちからを とこよにたたえん” Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹寛子姉 ルカによる福音書7章11-17節
賛美歌	512	“わがたましいの したいまつる”
説教		“ナインでの奇跡” Scroggins 由紀牧師
賛美歌	228	“ガリラヤの風 かおるあたり”
献金 報告 頌栄 祝祷 後奏	541	下竹博兄 Scroggins 由紀牧師 武井里花姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

憩いの場

“福音の語る幸い”

“こころの貧しい人たちは、さいわいである。天国は彼らのものである。”
(マタイによる福音書5章3節)

今年のシカゴの夏は過ごしやすい涼しい日が多かった気がしますが、その夏ももう終わり、初秋となりました。しかし、涼しい夏であっても夏と秋の季節の決定的な違いは、汗をかき、体が水を必要としているかどうかにあるようです。夏の間の渴きは、私たちの体が水分でできていることを強く感じさせてくれます。通常、私たちは普通の水では飽き足らず、コーラやジュースなどで渴きをいやそうとしていますが、水分が足りなくなって初めて、私たちは水そのものの重要さに気が付きます。

さて、聖書においても霊的な渴きについて、しかが谷川を慕いあえぐように、わが魂もあなたを慕いあえぐ、と書かれています（詩篇42篇）、この渴きこそ私たちが神に近づく為に必要なものです。主イエスは、こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである、といわれました。すなわち、自分の中にある渴きを自覚している人はさいわい、ということではないでしょうか。私の人生において、大きな影響を与えてくれた、信仰に熱心な方々は、皆、こころの貧しい人々でした。家族がいても、良い仕事に恵まれていても、神のご臨在なしにはこころの渴きをいやすことができないと、彼らは知っており、その証が彼らの人生にはあったのです。

私たちが本当に神を求める時、天国（神の御国）のさいわいを受けることができます。どうか私たち一人一人が導かれて、そのさいわいを人生で見出すことができますように。（Scroggins 由紀）

記事: 消息

—陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、小坂るみ姉など、主の癒しを必要とされている方々のために、お祈りください。

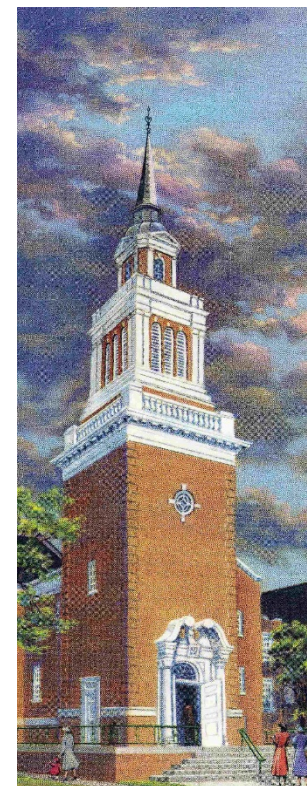
—9月10日の説教は“キリストと呼ばれる救い主”と題して、ヨハネによる福音書4章19-26節からでした。主イエスは井戸で出会ったサマリヤの女性の罪を言い当てられ、彼女は主を預言者と認めました。そして主は彼女に真の神を礼拝する時が来ていること、そしてご自身がキリストと呼ばれる救い主であられることについて話されました。罪の結果に苦しんでいた一人の女性が主イエスの救いに導かれた過程について考えました。

お知らせ

—本日は午後12時30分から Welcome Center にて、教会内の安全に関するポリシーの説明会が Educational Ministry によって行われます。特に子供やティーンエイジャーにかかわるボランティアに興味のある方は、ご参加ください。

—テキサス州に続いて、フロリダ州の大雨洪水被害に対応するため、One Great Hour of Sharing (OGHS) の献金を引き続き募っております。献金は小切手のメモ欄に OGHS-Hurricane Relief と書いてお出してください。金額は Warner Matching Funds によりマッチされ、テキサスとフロリダのバプテスト教会 (ABC, USA) の必要の為に送られます。

今週の聖句：わたしの舌に一言もないのに、主よ、あなたはことごとくそれを知られます。(詩篇139篇4節)



週報

第3642号
2017年 9月17日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

発行: 2017年9月13日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200 Ext. 26

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org